

令和6年度 富士南中・富士南小・富士第二小

学 校 危 機 対 応 マ ニ ュ ア ル

※見えるところに掲示してお使いください。

学校からの連絡は、「マチコミメール」または「ライデンスクール」を通じて連絡します。
(南中はライデンスクールから送ります)

1 大雨・暴風・洪水のいずれかの警報が富士市に発表されたとき



- 登下校中の場合 → 自分の家か学校か近い方に避難する。
- 在校中の場合 → 15:00 を過ぎても解除されなければ、保護者は学校からの連絡を待つ。
- 在宅中の場合 → 自宅待機をし、学校からの連絡を待つ。



2 地震が発生したとき

状況	震度 4 以下	震度 5 弱以上
登・下校中	安全には十分に気を付けて、登校する。 津波浸水想定区域内にいる場合には、浸水想定区域外を目指して移動する。 (登下校中の避難場所について事前に確認しておくこと。) なお、学校が近い場合は学校に移動する。	学校に近い場合は学校に移動、自宅に近い場合は自宅に移動する。
在校中	原則、通常通り。	原則、教育活動を中止する。
校外活動中	原則、通常通り。安全確保に努める。	保護者への引き渡しを行い、引き渡しができない児童生徒については、校内に留め置く。
在宅時	危険を感じる揺れの場合、保護者の判断で自宅待機する。安全を確認後、登校する。 津波や家屋の倒壊等の危険が迫っている可能性がある場合には、命を守る行動を最優先とし、判断に迷う場合は学校または最寄りの避難所に移動する。	原則、休校とする。保護者の管理下で行動する。

3 南海トラフ地震に関連する情報が発表されたとき

南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、状況に応じて以下のキーワードで南海トラフ臨時情報が発表される。

情報名	キーワード	情報発表条件
南海トラフ地震臨時情報	①調査中	観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
	②巨大地震注意	南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上M8.0未満の地震や通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合等 ※情報発表後7日以内に、南海トラフ沿いで巨大地震が発生する確率は通常の 数倍程度 の状態
	③巨大地震警戒	南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合 ※情報発表後7日以内に、南海トラフ沿いで巨大地震が発生する確率は通常の 100倍程度 の状態
	④調査終了	巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

(1) 「①調査中」「②巨大地震注意」「④調査終了」のとき

6 学校からけがや病気の連絡があったとき

- 通常 → 学校へ子どもを迎えに行く。場合によっては病院へ連れて行く。
- 緊急時 → 学校へ行き救急車に同乗する。学校が病院へ連れて行った場合は、直接病院へ行く。

7 新型コロナウイルス、インフルエンザ等感染症の疑いがあるとき

- ① 登校せず病院へ連れて行き、診断結果を学校へ報告する。
- ② 感染症と診断された場合は、指示された期間は自宅療養する。登校の際は、指示された書類を学校に提出する。(感染症によって用紙が異なる。)

8 不審者に遭遇したとき

- ① 子どもは近くの家に避難する。
- ② **最初に警察**（富士警察署 5 1 - 0 1 1 0）へ電話し詳しい内容を伝える。
＜警察へ伝える内容＞ 日時、場所、不審者の特徴、車のナンバーなど
警察による不審者の身柄確保、被害の拡大防止につなげるため。
- ③ 学校へ連絡する。
※在校中に情報があつた場合は、状況に応じて学校から対応について連絡する。

9 交通事故に遭つたとき（保護者の運転で交通事故に遭つたときも同様）

- ① **最初に救急車を要請**する。
- ② 学校へ連絡する。
※状況に応じて、学校から家庭へ対応を連絡する。

10 校区の事件発生・危険動物の出没等

- ① **最初に警察**へ連絡する。
- ② 学校へ連絡する。
※状況に応じて、学校から家庭へ対応を連絡する。
※在校中に情報があつた場合は、状況に応じて学校から対応について連絡する。